

多様化するニーズに応えるには？

我々は無意識のうちに商品やサービスに対して、先入観を抱きがちです。そして時にそれが、商品開発をするうえでチャンスを逃すことにもつながります。

たとえば、急須で入れて飲むお茶の茶葉（リーフ茶）などはその典型といえるでしょう。手前に茶畑、遠くに富士山の写真があしらわれているのがよくありがちなリーフ茶のパッケージです。しかしいまはあらゆるマーケットにおいてニーズが多様化し、すべての層に支持される商品を提供するのが難しい時代。ペットボトル飲料の普及や消費者のライフスタイルの変化により売上が落ち込んでいるリーフ茶を買ってもらうためには、ターゲットを見極め、ニーズに的確にマッチした商品づくりが欠かせません。

若者にウケる「茶」とは

そうした考えのもと、新商品開発のお手伝いをしたのが、富士市・マツムラ製茶の「朝霧ロック茶」です。これは、ハードロックからカントリーまで様々なジャンルのミュージシャンが富士山のふもと朝霧高原に集い開催される巨大野外音楽フェスティバル「朝霧JAM」で、首都圏を中心にやってくる1万人以上の音楽ファン向けに販売する“コンセプト茶”として開発したものです。

朝霧JAMが開催される初秋の頃、朝霧高原は朝晩大変冷え込み寒いほどですが、そんな場所にキャンプをしてまで音楽を楽しむにみる根っからの音楽ファンに「買いたい」と思ってもらうには、彼らの視点に合わせた、先入観にとらわれない斬新なネーミングやパッケージが必要です。そうして完成し

第6回 innovation for success

f-Biz式 情報活用術

たのが、朝霧ロック茶「叫」、朝霧ヘビメタ茶「狂」、朝霧J-POP茶「新」、朝霧カントリー茶「朴」の4アイテム。これらを会場で販売したところ、前年比3倍の売上げを実現したのです。



音楽をイメージしてブレンドされた商品

先入観にとらわれない商品開発

このときも、新聞記事データベースは大いに活用しました。まず、ターゲットを明確に絞ったリーフ茶の前例はあるかどうかを調べたところ、ほぼありませんでした。ならば、「今までにない斬新なアイデア」ということで話題性にもなるし、

起業や新規ビジネス支援で数々の成果を上げてきた富士市産業支援センター f-Biz。起業家の創出と地域産業の活性化を目指し、情報収集と分析で活用してきたツールは、新聞記事データベース「日経テレコン」でした。f-Bizセンター長で、データベースを長年用いてきた小出宗昭氏が情報活性化を解き明かします。

茶製造販売「マツムラ製茶」

～捨てよう先入観～

競合商品のない「強み」があります。私はこの段階で、「いける！」と判断したのです。

「先入観を捨てる」ということは、簡単そうでいて実際には難しいもの。既成概念や先入観にとらわれないためのトレーニングとしてお勧めなのが、自分の業界と似た業界のトレンドをチェックすることです。

ツールにデータベースを使います。たとえば飲食の中でもイタリアンやフレンチの世界にいるなら、寿司や日本料理、居酒屋の業界動向を調べるといいでしょう。今、何が人気か、どんな傾向があるのかを見ていくうちに、ヒントとなる気づきに出会えるはずです。

【ご案内】静岡新聞データベースplus日経テレコン

静岡新聞と日本経済新聞各紙の記事をパソコンなどで検索できる情報サービス。企業・自治体・図書館・大学・学校の5つのタイプがあります。特に企業タイプは、業務に必要で見逃さない記事を自動で抽出する「クリッピング」など便利な機能があります。



■筆者紹介

小出宗昭氏(こいで・むねあき)

83年静岡銀行入行。出向を通じ「企業支援」の可能性に目覚める。05年経済産業大臣表彰受賞。08年銀行を退職し独立、富士市産業支援センター f-Bizセンター長に就任。1,000件以上の新規ビジネス立ち上げを支援している。静岡新聞読者と報道委員会委員。

■斬新なデザインで売上アップ

荒茶の単価が下降傾向をたどり、経営に勢いがなくなってきた中、小出センター長にアドバイスを求めました。若者が集まる音楽イベントでどうやったら緑茶が売れるのか、お土産として買ってもらえるのか、という難題に対し、この商品の販売は若者の目を引き、話題にもなりました。また、試行錯誤して作ったブレンド茶の中には予想以上に味の良い商品も生まれました。新たな取り組みにチャレンジする大切さを改めて気づかせてくれ、大変感謝しています。

マツムラ製茶 松村充博代表



小出センター長(中央)にアドバイスを求める松村代表(右)

【当サービスのご利用について】静岡新聞データベースplus日経テレコンは、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。【利用料金】サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額基本料金のほかご契約プランによっては、検索・出力した利用に応じた情報利用料金がかかります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース plus 日経テレコン

■お問い合わせ 静岡新聞社 総合メディア局 TEL 054-284-9187(平日 9:00~18:00)

静岡新聞データベース 日経

検索

http://www3.shizushin.com/dbplus/



静岡新聞

